

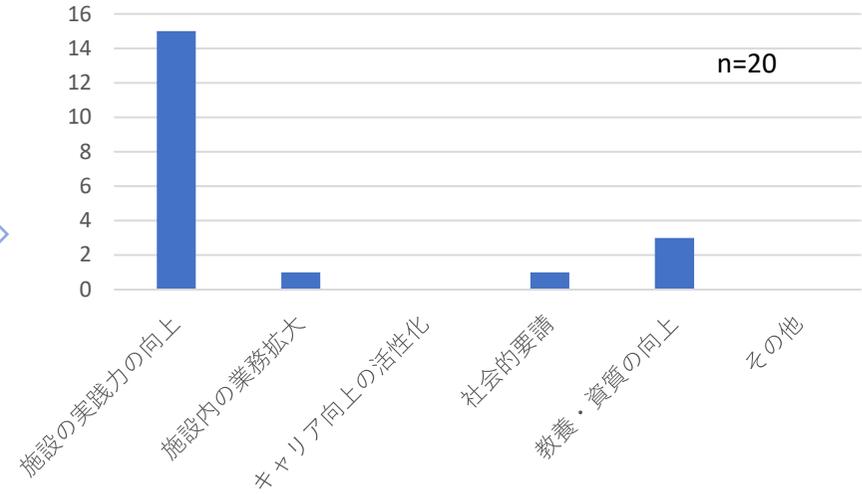
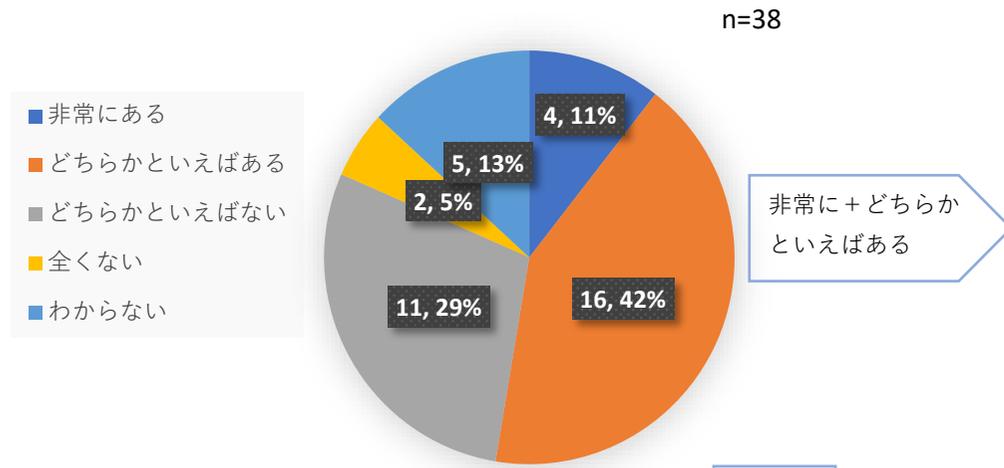
学生確保の見通し等を記載した書類 添付資料目次

- 資料 B 1 「浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程」に
関するアンケート調査結果
(病院・施設の看護管理者(看護部長等)対象)
- 資料 B 2 「浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程」に
関するアンケート調査結果
(浜松医科大学修士課程修了生対象)
- 資料 B 3 「浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程」に
関するアンケート調査結果
(浜松医科大学修士課程在学学生対象)
- 資料 B 4 「浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程」に
関するアンケート調査結果
(浜松医科大学医学部看護学科3年生、4年生対象)
- 資料 B 5 「浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程」に
関するアンケート調査結果
(大学教員対象)
- 資料 B 6 「浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程」に
関するアンケート調査結果
(専門学校教員対象)

表 1. 病院・施設等看護管理者回答者概要 (n=38)

項目	数
施設の設置主体	
国（独法人国立病院機構、国立大学法人など）	4
公的医療機関（都道府県、市町村、日本赤十字社など）	18
社会保険関係団体（共済組合、全国社会保険協会連合会など）	0
医療法人	7
その他	9
施設の種類・機能	
特定機能病院	0
地域医療支援病院	10
一般病院	15
精神科病院	2
介護保険施設	2
保健所・保健センター	4
訪問看護ステーション	2
その他	3
病床数	
101～200床	8
201～300床	4
301～400床	4
401～500床	6
501～600床	4
601床以上	4
看護職数	
～50名	10
51～100名	3
101～200名	5
201～300名	4
301～400名	1
401～500名	5
501～600名	5
601名以上	4
在職の修士課程修了者数	
1～3名	14
4～6名	4
7～10名	3
11～20名	1
21名以上	0
在職者なし	14
在職の博士課程修了者数	
1～3名	3
4～6名	0
7～10名	0
11～20名	0
21名以上	0
在職者なし	21
過去3年間採用者の修士課程修了者数	
1～3名	5
4～6名	3
7名以上	0
採用実績なし	27
過去3年間採用者の博士課程修了者数	
1～3名	0
4～6名	0
7名以上	0
採用実績なし	27
修士入学希望者	
1～2名	7
3～5名	3
6～7名	0
8名以上	0
わからない	27
博士入学希望者	
1～2名	3
3～5名	0
6～7名	0
8名以上	0
わからない	29
管理者に必要と考える学位	
博士課程修了	1
修士課程修了	6
学部卒業	23
専門・短大卒業	5
その他	2

病院・施設看護管理者の職員の博士課程入学に対する調査結果



3

図1. 職員の博士課程（一般）入学への興味関心

図2. 職員の博士課程入学に興味関心のある理由

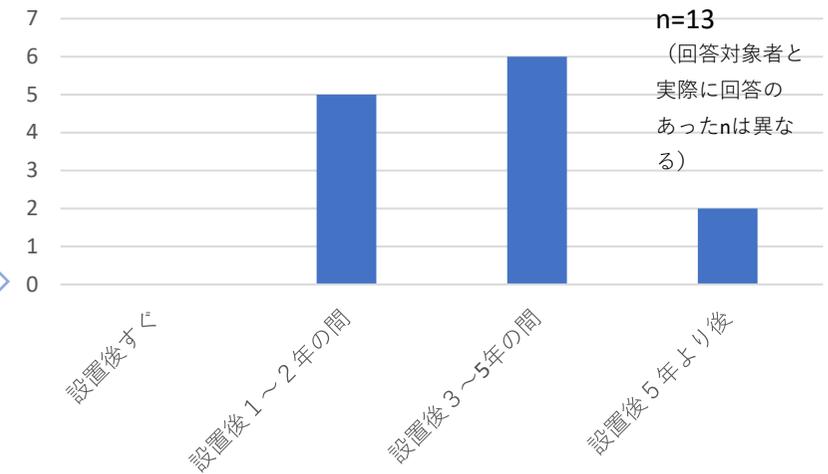
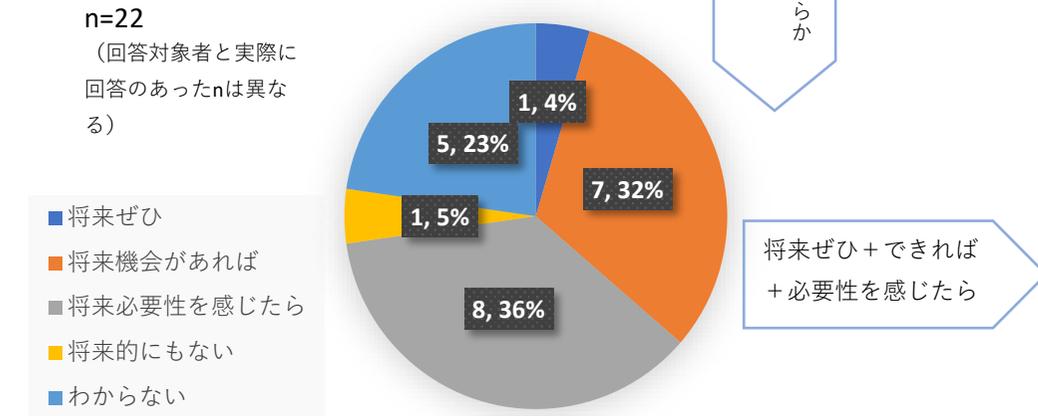
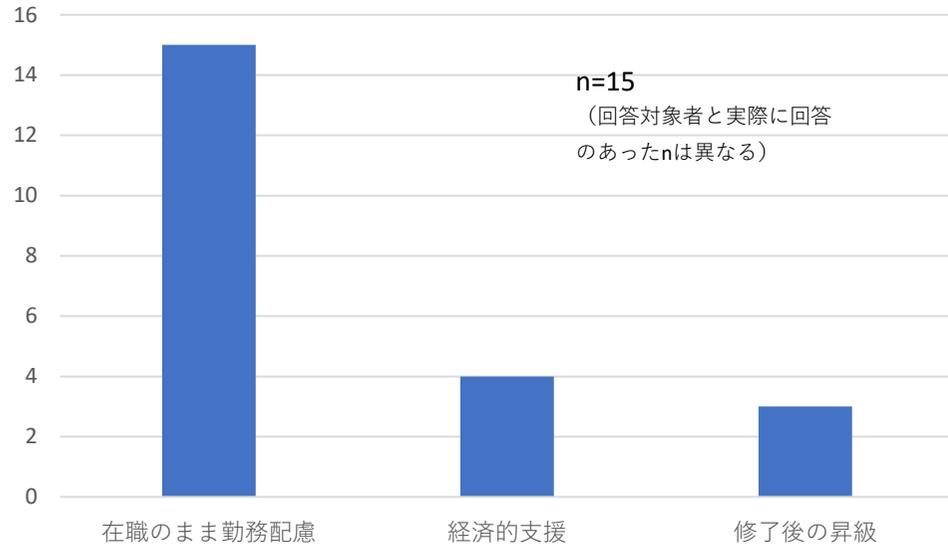


図3. 職員の浜松医大博士課程入学への考え

図4. 職員を浜松医大博士課程に入学させたい時期



具体的勤務配慮内容

- ・ 休職制度
- ・ 勤務場所考慮
- ・ 夜間・週末開校等

4 図5. 職員が浜松医大博士課程に入学する場合の支援予定（検討）事項
（該当するものすべて）

表2. 病院・施設等管理者の自由意見

カテゴリー	サブカテゴリー	記述概要
高度な教育機関への期待	地方に教育機会が増えることへの期待	地方に看護師の教育機会が増えるのはよいことだが、どこに進むかは本人の意思なので、組織としては勤務調整や育英奨学金等で支援することに留まる。
	大学院教育への期待	弊社が採用した保健師は貴大学出身者も存在し、能力を発揮している。個人的な希望として院卒者が本社採用（学卒として、修士、博士、研究職という立場）され高プロになっていってくればよいと常々願っている。

平成 30 年 9 月

関連病院
看護部長様

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
博士課程設置ワーキンググループ
リーダー 佐藤直美

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程および
高度実践看護師教育課程専門分野の新規設置に関するニーズ調査へのご協力をお願い

拝啓 初秋の候、貴施設におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

近年の看護教育をとりまく変化は大きく、平成 30 年 4 月現在 4 年生看護系大学の数は 260 を超えています。医療の高度化・複雑化、超高齢化に伴う地域包括ケアシステムの推進等の社会の動きの中で、看護職に求められるニーズは多様化・高度化しています。本学は平成 7 年の看護学科開設以来、看護師・保健師・助産師となる学生を教育し、地域社会の要請に応えるべく努めてまいりました。平成 11 年度には大学院修士課程看護学専攻を設置し、さらに修士課程の中に、平成 20 年にはクリティカルケア看護高度看護実践コース（CNS コース）を、平成 27 年度には助産師養成コースを設け、看護教育者・研究者、看護管理者、高度な看護実践者の養成にも力を入れています。この度本学では、研究・教育・実践能力に優れた人材育成にさらに注力すべく、大学院教育について見直しをすることといたしました。具体的には、博士課程（博士後期課程）の設置、修士課程への高度実践看護師教育課程の新たな専門分野設置について検討を進めています。

これらの検討を進めていくにあたり、病院看護管理者、保健施設管理者、修士課程在学学生・修了生など複数の分野の方々にニーズ調査を実施したいと考えました。

そこで、今回、近隣の病院・施設の看護管理者（看護部長等）の方々が博士課程設置にどの程度関心をお持ちであるか、高度実践看護師教育課程としてどの分野にニーズをお持ちであるか、また、将来的に看護職員を派遣していただく見込み等についてご意見を伺いたく、調査へのご協力をお願いする次第です。この調査結果は、今後計画を進めるにあたっての基礎資料とさせていただきますが、お答えいただいた施設等の個別の情報が公にされることはありません。ご多用のところ大変恐縮ですが、ご協力いただければ幸いです。

尚、すでに別の調査（修士修了生対象）でご回答いただいている場合がございましたら、本調査では看護管理者としてのお立場でご回答いただきたくお願い申し上げます。

ご回答いただきました調査用紙は、返信用封筒に入れ、期日が短く申し訳ございませんが、9 月 28 日ごろまでにご返信いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

敬具

問い合わせ先

佐藤 直美 （浜松医科大学看護学科、博士課程設置ワーキンググループリーダー）

TEL/ FAX: 053-435-2825（直通） E-mail: naomi25@hama-med.ac.jp

問5 貴施設の専門看護師について、専門分野とその人数をお教えてください。専門分野の番号を次の中から選び 内の左側に記入し、その人数を右側にお書きください。専門看護師がいない場合は、14 とご回答ください。

- 1 がん看護 2 精神看護 3 地域看護 4 老人看護 5 小児看護
 6 母性看護 7 慢性疾患看護 8 急性・重症患者看護 9 感染症看護
 10 家族支援 11 在宅看護 12 遺伝看護 13 災害看護 14 いない

【例】 がん看護専門看護師が2名の場合

1	2 名
---	-----

	名		名		名		名
	名		名		名		名

問6 貴施設の認定看護師の人数をお教えてください。

名

問7 貴施設の看護職員の中に、大学院（修士・博士課程）修了者はどの程度在職していますか。それぞれお答えください。

- 1 1～3名
 2 4～6名
 3 7～10名
 4 11名～20名
 5 21名以上
 6 在職者なし

修士	博士
<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>

問8 貴施設の看護職者の採用実績（新卒・中途採用）について伺います。過去3年間（平成28～30年度）の採用者の中に、大学院（修士・博士課程）修了者はどの程度含まれていますか。それぞれお答えください。

- 1 1～3名
 2 4～6名
 3 7名以上
 4 採用実績なし

修士	博士
<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>	<input style="width: 40px; height: 30px;" type="text"/>

問9 貴施設において、今後大学院修士課程および博士課程に入学を希望している看護職者はどの程度いらっしゃいますか。把握していらっしゃる範囲で構いませんのでそれぞれお答えください。

次のページへお進みください

次に、浜松医科大学看護学科で検討中の大学院看護学専攻 博士課程について伺います。

問 13 あなたは、本学に大学院医学系研究科 看護学専攻 博士課程が設置された場合、貴施設の看護職者が入学することについてどのように考えますか。1つ選んでください。なお、博士課程設置は平成 33 年度または 34 年度を目標としています。

- | | | |
|---------------------------|---|---------------|
| 1 将来、ぜひ入学させたい | } | 問 14 へお進みください |
| 2 将来、機会があれば入学させたい | | |
| 3 将来、必要性を感じた場合には入学を考えさせたい | | |
| 4 将来的にも入学を考えることはない | } | 問 16 へお進みください |
| 5 わからない | | |
-

問 14 問 13 で 1 から 3 と回答された方におたずねします。あなたが貴施設の看護職者を本学大学院博士課程に入学させたいと思う時期はいつ頃ですか。1つ選んでください。

- 1 博士課程設置後すぐ
 - 2 博士課程設置後 1～2 年の間
 - 3 博士課程設置後 3～5 年の間
 - 4 博士課程設置後 5 年より後
-

問 15 問 13 で 1 から 3 と回答された方におたずねします。貴施設の看護職者が本学大学院博士課程に入学する場合、支援として行う予定であること、あるいは検討したいこととはどのようなことですか。次の中から あてはまるものをすべて 選んでください。

- 1 在職のまま入学できる勤務上の配慮
(具体的な配慮の内容：)
 - 2 施設として整備する奨学金制度等の経済的支援
 - 3 修了後の職位の昇級
 - 4 その他 ()
-

次に、本学で検討中の大学院看護学専攻 修士課程 高度実践看護師教育課程 について伺います。

問 16 貴施設として、本学大学院看護学専攻修士課程 高度実践看護師教育課程に 設置を期待する専門分野はどれですか。優先順位順に最大 3 つまでお答えください。

- | | | | |
|---------|----------|--------------|--------------|
| 1 がん看護 | 2 精神看護 | 3 地域看護 | 4 老年看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 慢性看護 | 8 クリティカルケア看護 |
| 9 感染看護 | 10 家族看護 | 11 在宅看護 | 12 遺伝看護 |
| 13 災害看護 | 14 放射線看護 | 15 プライマリケア看護 | |

次のページへお進みください

問 17 問 16 で回答いただいた専門分野が浜松医科大学大学院修士課程に設置された場合、貴施設の看護職者の入学についてどのように考えますか。1つ選んでください。

- 1 希望者がおり、是非入学させたい
- 2 現在希望者はいないが、適切な職員を入学させたい
- 3 現在希望者がいないが、将来的には考えていきたい
- 4 わからない

問 18 浜松医科大学大学院 医学系研究科看護学専攻 博士課程の設置、および修士課程高度実践看護師教育課程専門分野の新規設置について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これで質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

表 1. 修士課程修了者回答者概要 (n=73)

項目	数
性別	
男性	4
女性	69
年代	
20歳代	1
30歳代	11
40歳代	28
50歳代	27
60歳代以上	5
住まい	
県内	51
県外	21
修了専門領域	
健康科学	5
基礎看護学	17
成人論文	11
成人CNS	2
老人看護学	5
母性看護学	5
小児看護学	8
地域看護学	14
精神看護学	3
助産師養成コース	2
修了後年数	
1～2年	11
3～5年	18
6～10年	23
11年以上	20
勤務先	
病院	26
施設	4
行政等保健関連施設	8
企業、団体	4
看護系大学	13
看護系専門学校	2
研究所	0
自営	3
主婦（主夫）	3
大学院生	0
無職	1
その他	8
看護職経験年数	
看護職以外の人はその経験年数	
3年未満	1
3年以上5年未満	5
5年以上8年未満	11
8年以上10年未満	5
10年以上15年未満	8
15年以上20年未満	9
20年以上	32

修士課程修了生の博士課程入学に対する意識

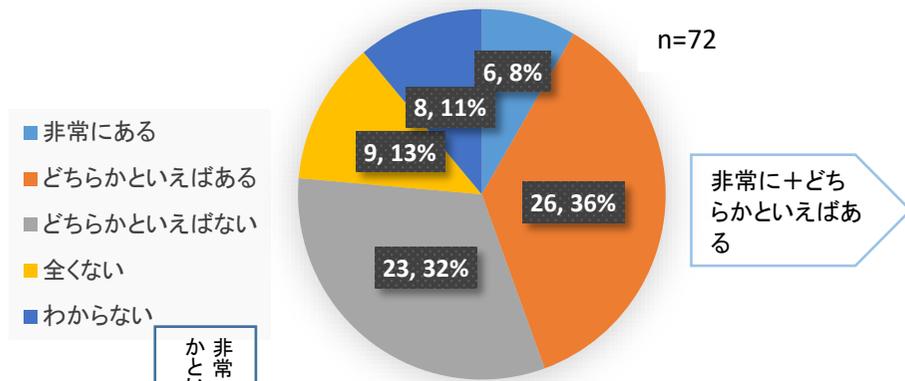


図1. 博士課程(一般)に対する興味関心

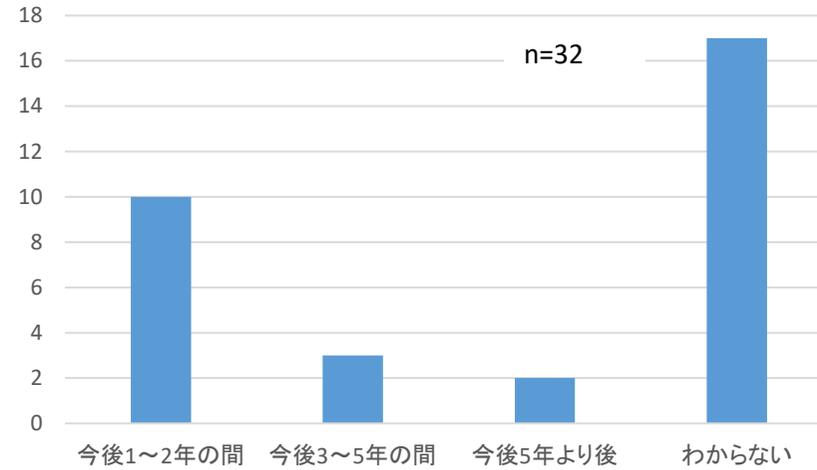


図2. 博士課程(一般)に入学を希望する時期

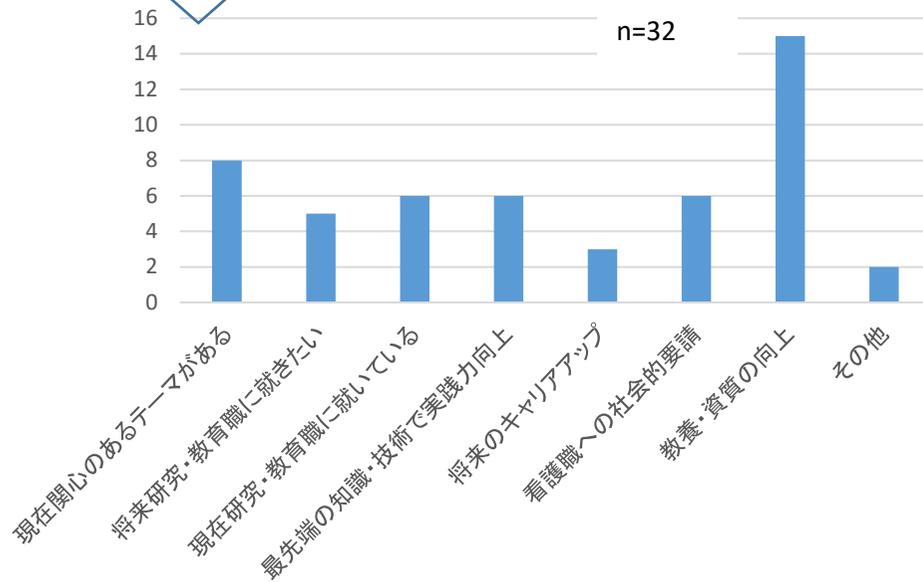


図3. 博士課程(一般)に興味関心がある理由(優先2つまで)

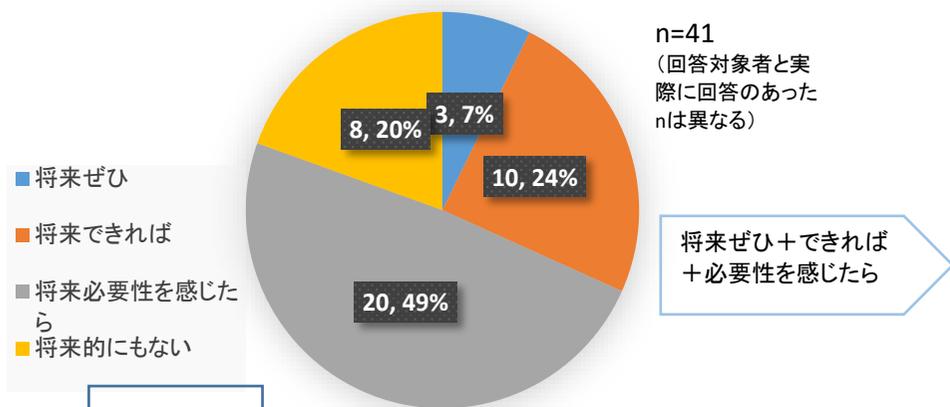


図4. 浜松医大博士課程への入学について

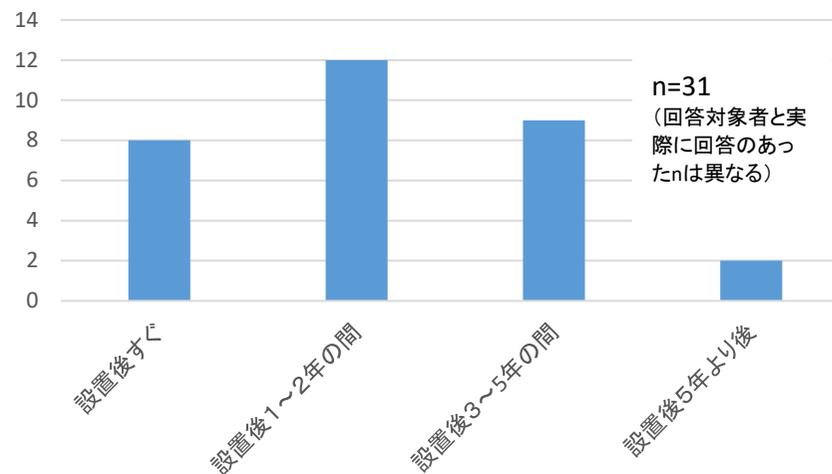


図5. 浜松医大博士課程に入学を希望する時期

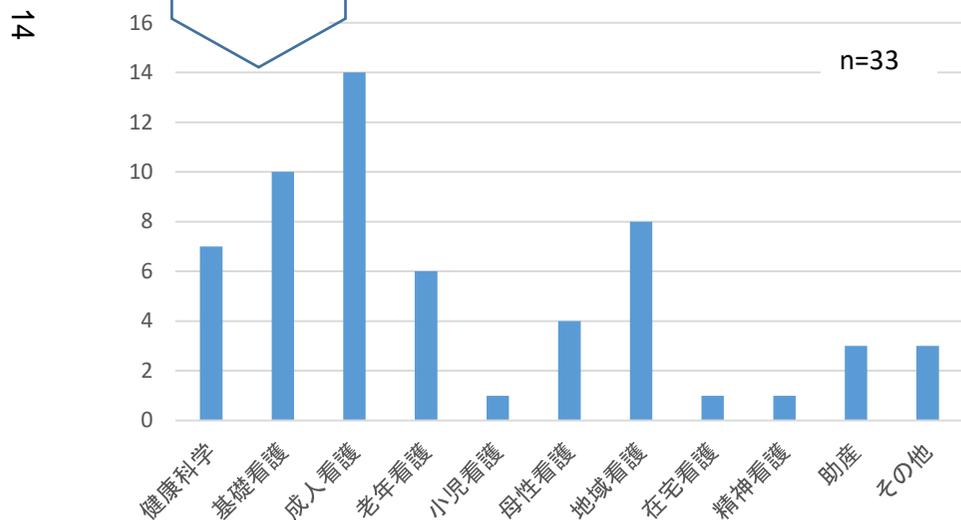


図6. 浜松医大博士課程で入学を希望する領域(2つまで)

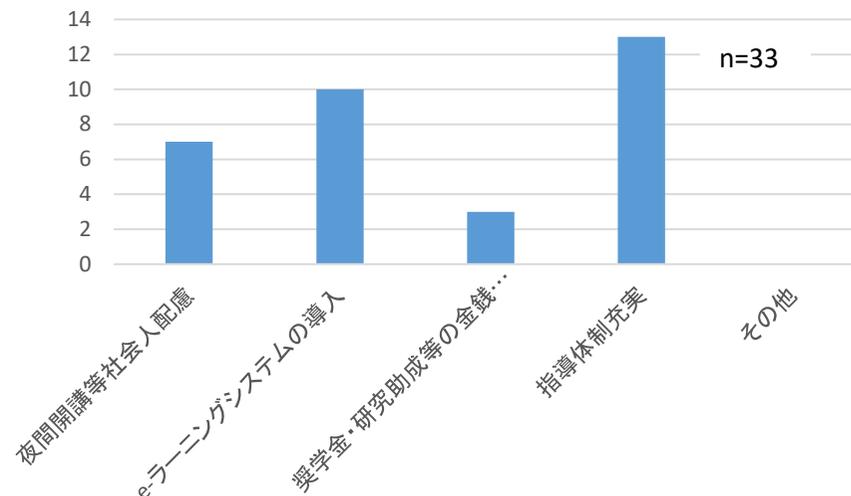


図7. 在職で浜松医大博士課程へ入学する場合の希望配慮内容

表2. 修士課程修了生の自由意見

カテゴリー	サブカテゴリー	記述概要
浜松医大博士課程への入学の希望	進学を強く希望する	なるべく早い段階での設置を希望する 自身のキャリアアップのために博士課程進学を考えており、そのときは是非母校で以前から設置を希望していたのでとても期待している
	いずれチャンスがあれば進学したい	進学を考えているが今は難しい。チャンスがあれば浜医の博士課程へ進学したい。
浜松医大に設置されることの重要性・期待	浜松医大に博士課程ができることが重要	静岡県内の看護学の博士課程は私立大学のみで(注:当時)選択ができなかったので必要修士のことを理解した教員のもとで学修するのがよい 在職のまま進学する場合は「近場」はとても重要。 今後の看護学の発展と浜医の役割として設置を強く希望する 非常にすばらしく、現代のニーズに合っている 大学の教育研究職の不足があるため必要 看護職のさらなるレベルアップを目指すためにも大変意味がある 身近にそのような場があることが学生だけでなく、地域の健康レベルアップにも十分に影響する 若い方や教育職、研究職の方には重要 浜医看護の進化を知り嬉しい
	今後のためにも設置に期待する	修士修了後すぐには博士進学を希望していた。今後のために設置を望む。 ² 設置に期待するが、自分が進学するかはわからない 子育てが終わって学びたくなったときのために、高度な教育体制にしてもらえると嬉しい もう少し年齢が若ければ入学したかった 自分自身は年齢的に困難だが、今後の人材育成のために高度な専門性を備えた方の活躍を祈るとても嬉しいが、在職のままではとても大変で現場で働くといろいろな意味でギャップを感じる 広い視野の博士課程はすごく大切だと思う。 設置に賛成 すでに他博士課程に在籍中だが、必要 私立大学で教員をしながら博士課程に在籍中。発展を期待する
	興味がある	詳しい情報があれば聞きたい
設置に期待した上での要望	設置にあたっての要望	遠方に転居しなければ入学したかった。スカイプ等でも参加できる形態でゼミや講義をしてもらえると入学希望者は増えると思う。 新規設置はよいと思う。働きながらできるようにお願いします。 看護管理の修士、博士課程の設置を独立されることを期待している。 ² 家庭があっても余裕をもって学べる環境があればうれしい 就業の支援(臨床側から)をもらえると進学しやすい 働きながら博士は難しい。それだけの魅力が必要

数字の記載箇所以外は回答数は1

平成 30 年 8 月

浜松医科大学大学院医学系研究科
修士課程看護学専攻 修了生各位

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
博士課程設置ワーキンググループリーダー 佐藤直美
浜松医科大学看護学科 同窓会 会長 山下寛奈

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
博士課程および CNS 新規コース設置に関するニーズ調査へのご協力をお願い

拝啓 残暑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学は平成 7 年の看護学科開設以来、看護師・保健師・助産師となる学生を教育し、地域社会の要請に応えるべく努めてまいりました。平成 11 年度には大学院修士課程看護学専攻を設置し、さらに修士課程の中に、平成 20 年度にはクリティカルケア看護高度看護実践コース（CNS コース）を、平成 27 年度には助産師養成コースを設け、看護教育者・研究者、看護管理者、高度な看護実践者の養成にも力を入れています。この度、本学では、研究・教育・実践能力に優れた人材育成にさらに注力すべく、大学院教育について見直しをすることといたしました。具体的には、博士課程（博士後期課程）の設置、修士課程への高度実践看護師教育課程（CNS コース）の新たな専門分野設置について検討を進めています。

これらの検討を進めていくにあたり、病院看護管理者、保健施設管理者、修士課程在学生・修了生など複数の分野の方々にニーズ調査を実施したいと考えました。

そこで、今回、本学大学院修士課程修了生の皆様が博士課程進学への希望をお持ちであるか、高度実践看護師教育課程（CNS コース）としてご興味のある分野を持っていらっしゃるか等についてご意見を伺いたく、調査へのご協力をお願いいたします。この調査結果は、今後計画を進めるにあたっての基礎資料とさせていただきますが、お答えいただいた個人の情報が公にされることはありません。ご多用のところ大変恐縮ですがご協力いただければ幸いです。

ご回答いただきました調査用紙は、同封の返信用封筒に入れ、9 月 20 日ごろまでにご返信ください。どうぞよろしく願いいたします。

なお、本調査の実施は、今後の浜松医科大学看護学科の発展に資するものであると、看護学科同窓会からご理解・ご賛同をいただき、同窓会長との連名という形をお願いをさせていただいております。皆様の住所等の個人情報につきましては同窓会から提供いただきましたことを申し添えます。ご了承の程よろしく願いいたします。

敬具

問い合わせ先

佐藤 直美（浜松医科大学看護学科、博士課程設置ワーキンググループリーダー）

TEL/ FAX: 053-435-2825（直通） E-mail: naomi25@hama-med.ac.jp

問6 あなたの勤務経験についてお教えてください。現在の勤務先を次の中から選んでください。

- | | | |
|---------|-------------|---------------|
| 1 病院 | 2 施設 | 3 行政等の保健関連施設 |
| 4 企業、団体 | 5 看護系大学（教員） | 6 看護系専門学校（教員） |
| 7 研究所 | 8 自営 | 9 主婦（主夫） |
| 10 大学院生 | 11 無職 | 12 その他 |

(具体的に)

問7 あなたの これまでの勤務先 を上の選択肢から選んで すべて お答えください。

問8-1 あなたが看護職の場合、看護職としての経験年数をお教えてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 3年未満 | 2 3年以上5年未満 |
| 3 5年以上8年未満 | 4 8年以上10年未満 |
| 5 10年以上15年未満 | 6 15年以上20年未満 |
| 7 20年以上 | |

問8-2 あなたが理学療法士や栄養士等の、看護職でない方の場合、その職種としての経験年数を上の選択肢から選んでお答えください。

ここから、大学院看護学専攻博士課程 一般のこと についてお伺いします。

問9 あなたは、大学院看護学専攻博士課程へ入学することについて、どの程度興味・関心がありますか。1つ選んでください。

- | | | |
|--------------|---|-------------|
| 1 非常にある | } | 問10へお進みください |
| 2 どちらかといえばある | | |
| 3 どちらかといえはない | } | 問17へお進みください |
| 4 全くない | | |
| 5 わからない | | |

問10 問9で1または2と回答された方に伺います。博士課程に入学したいと思う時期はいつごろですか。

- | | |
|------------|------------|
| 1 今後1～2年の間 | 2 今後3～5年の間 |
| 3 今後5年より後 | 4 わからない |

問11 問9で1または2と回答された方に伺います。その理由を次の中から優先順位順に2

つ選んでください。

- 1 現在、関心のある研究テーマがあり、大学院博士課程に進んで研究を進めたいから
- 2 将来、研究・教育職に就きたいと考えており、そのために大学院博士課程修了の学歴および能力が求められるから
- 3 現在、研究・教育職に就いており、そのために大学院博士課程修了の学歴および能力が求められるから
- 4 将来を見据え、最先端の専門的知識・技術を身に付け看護実践力を向上させたいから
- 5 将来を見据え、キャリアアップ（職位の昇進等）につなげたいから
- 6 看護職に対して、社会的に大学院博士課程修了程度の学歴および能力が求められているから
- 7 学習環境に身を置き、生涯教育の1つとして、自分の教養・資質を高めたいから
- 8 その他（具体的に _____ ）

① ②

問12 問9で1または2と回答された方に伺います。もし具体的に入学を検討している大学院博士課程がある場合、差し支えなければ大学院名をお答えください。また、その大学院を検討している理由をお教えてください。

大学院名	
理由	

次に、浜松医科大学看護学科で検討中の大学院看護学専攻博士課程について伺います。

問13 あなたは、本学大学院医学系研究科 看護学専攻 博士課程が設置された場合、入学についてどのように考えますか。なお、博士課程設置は平成33年度または34年度を目標としています。

- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 将来、ぜひ入学したい 2 将来、できれば入学したい 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える 4 将来的にも入学を考えることはない | <div style="font-size: 2em;">}</div>
<div style="font-size: 2em;">→</div> | <p>問14へお進みください</p> <p>問17へお進みください</p> | <input style="width: 40px; height: 30px;" type="checkbox"/> |
|--|--|---------------------------------------|---|

問14 問13で1から3と回答された方に伺います。あなたが本学大学院博士課程に入学したいと

思う時期はいつごろですか。1つ選んでください。

- 1 博士課程設置後すぐ
- 2 博士課程設置後1～2年の間
- 3 博士課程設置後3～5年の間
- 4 博士課程設置後5年より後

問15 問13で1から3と回答された方に伺います。あなたが将来入学したいと考えている博士課程の領域はどれですか。次の中から最大2つまで選んでください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 健康科学 | 2 基礎看護 | 3 成人看護 | 4 老年看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 地域看護 | 8 在宅看護 |
| 9 精神看護 | 10 助産学 | 11 その他 | |

()

問16 問13で1から3と回答された方に伺います。あなたが、仮定を含め職に就いたままで大学院に入学する上で、あってほしい条件はどのようなことですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 社会人に配慮した夜間開講等の授業
- 2 e-ラーニングシステムの導入
- 3 奨学金・研究助成金等の金銭的支援体制の充実
- 4 学位論文の指導体制の充実
- 5 その他 ()

次に、大学院看護学専攻修士課程高度実践看護師教育課程（CNS コース）専門分野の新規設置について伺います。

問17 あなたは、(本学に限らず) 大学院看護学専攻 高度実践看護師教育課程への入学について、どの程度興味・関心がありますか。1つ選んでください。

- 1 非常にある
- 2 どちらかといえばある
- 3 どちらかといえばない
- 4 全くない
- 5 わからない

} 問18へお進みください

} 問21へお進みください

問18 問17で1から2と回答された方に伺います。どの専門分野に興味・関心がありますか。

次の中から最大2つまで選んでください。

- | | | | |
|---------|----------|--------------|-------------|
| 1 がん看護 | 2 精神看護 | 3 地域看護 | 4 老人看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 慢性疾患看護 | 8 急性・重症患者看護 |
| 9 感染症看護 | 10 家族支援 | 11 在宅看護 | 12 遺伝看護 |
| 13 災害看護 | 14 放射線看護 | 15 プライマリケア看護 | |

問19 問17で1から2と回答された方に伺います。入学を希望する時期はいつごろですか。1つ選んでください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 今後1～2年の間 | 2 今後3～5年の間 |
| 3 今後5年より後 | 4 わからない |

問20 問18で答えた専門分野が浜松医科大学大学院修士課程に設置された場合、入学についてどのように考えますか。1つ選んでください。

- | |
|----------------------|
| 1 将来、ぜひ入学したい |
| 2 将来、できれば入学したい |
| 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える |
| 4 将来的にも入学を考えることはない |

すべての方に伺います。

問21 浜松医科大学医学系研究科看護学専攻博士課程の設置、および修士課程高度実践看護師教育課程専門分野の新規設置について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これで質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

表 1. 修士課程在学生回答者概要 (n=20)

項目	数
性別	
男性	3
女性	17
年代	
20歳代	3
30歳代	4
40歳代	7
50歳代	5
60歳代以上	1
住まい	
県内	18
県外	2
在籍専門領域	
健康科学	1
基礎看護学	4
成人論文	2
成人CNS	1
老人看護学	5
母性看護学	3
小児看護学	0
地域看護学	4
精神看護学	0
助産師養成コース	0
経験年数	
3年未満	1
3年以上5年未満	2
5年以上8年未満	3
8年以上10年未満	0
10年以上15年未満	4
15年以上20年未満	4
20年以上	7
在学形態	
社会人（常勤）	14
社会人（非常勤）	4
社会人（休職中）	0
学業専念	1
その他	0
勤務先	
病院	7
施設	0
行政等保健関連施設	3
企業、団体	2
看護系大学	2
看護系専門学校	3
研究所	0
自営	2
その他	0
修了後の予定	
今の勤務先でそのまま	14
勤務先変わる	2
新たに仕事を始める	0
その他	4

修士課程在学生の博士課程入学に対する意識

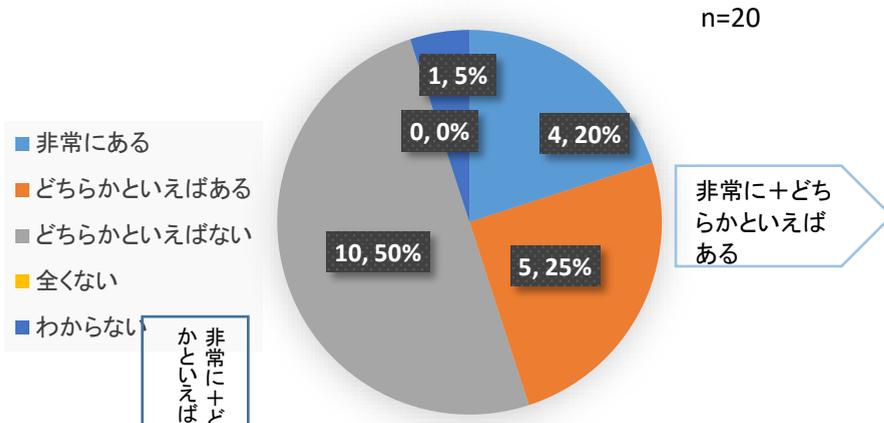


図1. 博士課程(一般)への興味関心

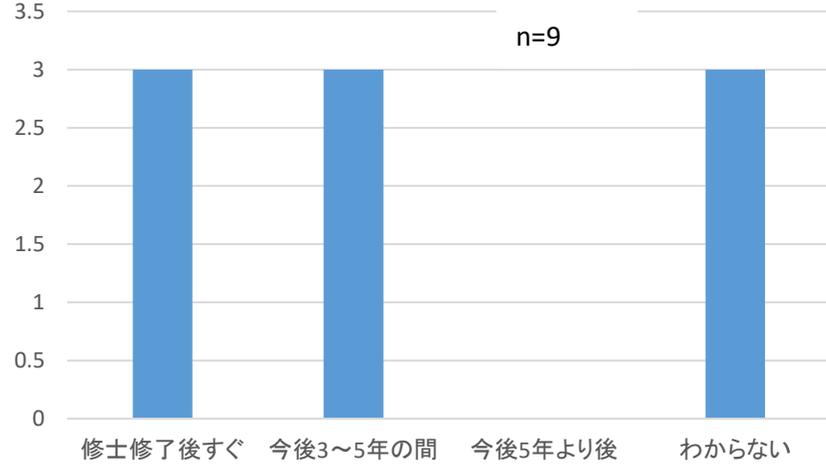


図2. 博士課程(一般)に進学を希望する時期

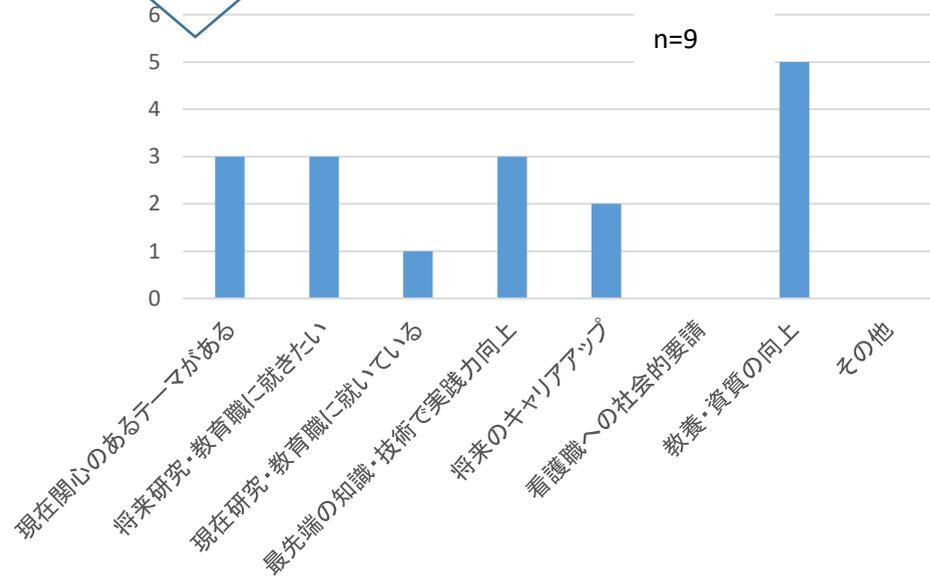


図3. 博士課程(一般)に興味関心のある理由(2つまで)

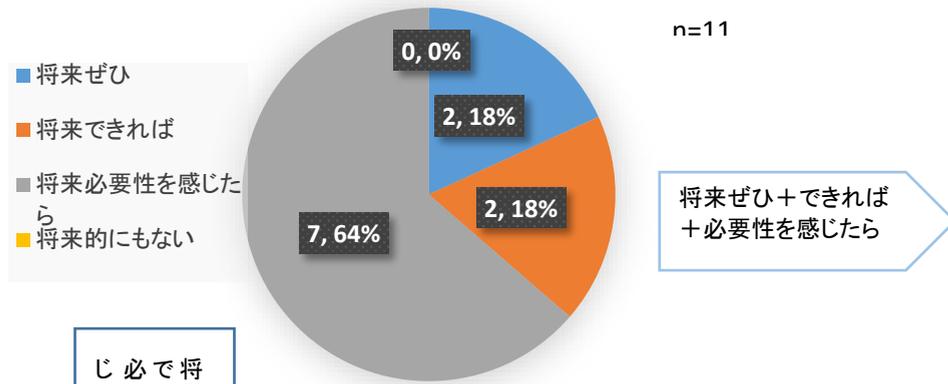


図4. 浜松医大博士課程への入学について

じ必で将
た要き来
ら性れぜ
をばひ
感++

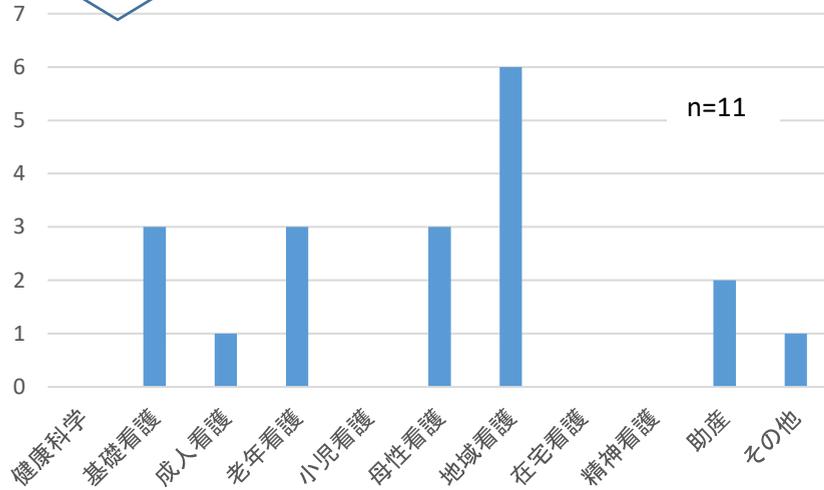


図6. 浜松医大博士課程で入学を希望する領域(2つまで)

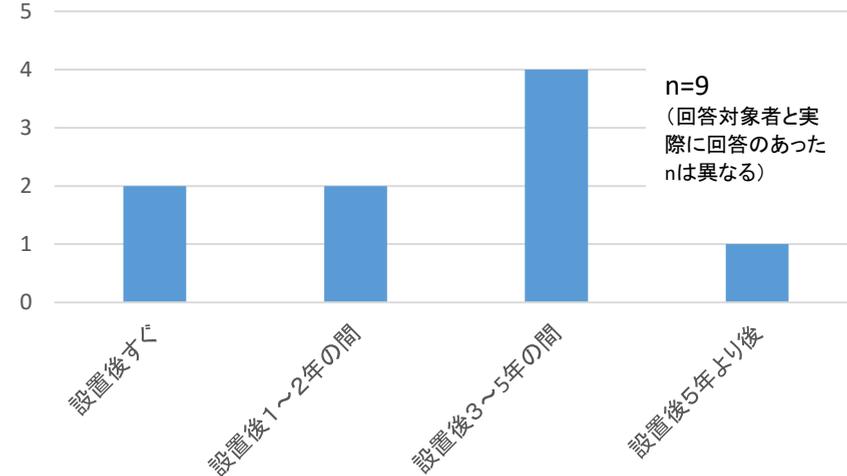


図5. 浜松医大博士課程への入学を希望する時期

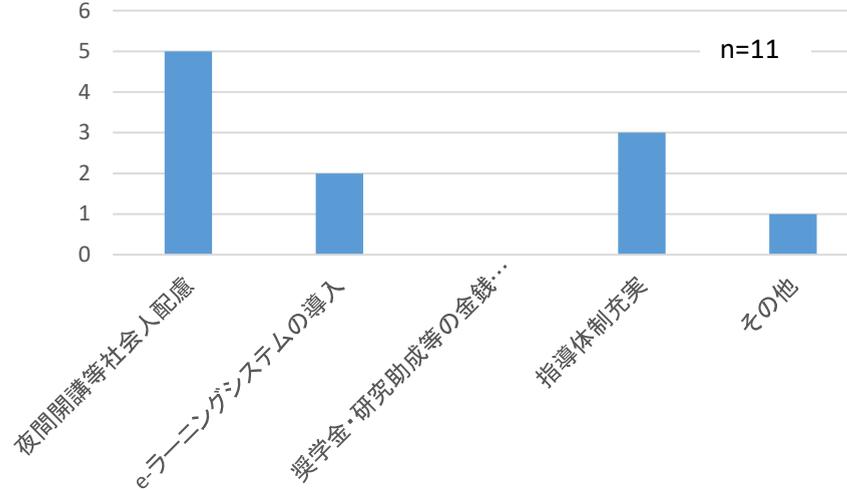


図7. 在職で浜松医大博士課程へ入学する際の希望配慮内容

表2. 修士課程在学生の自由意見

カテゴリー	サブカテゴリー	記述概要
設置への期待	国立大学として設置されることを望む	自分がもし看護職であれば質の向上につながると考えられるためよいと思う。(回答者:非看護職) 優れた看護職や教育者を養成するのは国立大学の責務ではないかと思うので新規設置を進めていかれる様望む。
	自分の進学をふまえ是非設置してほしい	設立予定を知り大変うれしい。親の介護などあるが、卒業後、語学を習得してからチャレンジしたいと思う。 特に博士課程設置を強く希望する。特定行為併設も希望。 博士課程が当大学にぜひ設置してほしい。他の大学に行くよりは引き続き学べることはよい。 関心のある領域分野で更に学びたいという思いはある。可能性として博士課程があれば追及できることも多いかと思うので開設していただければ良いと思う。
	もっと早く設置してほしい	できればすぐに入りたかったので少し時間があく為残念。医学部の博士課程か他大学をまず受験したいと思っている。
就業との両立困難	社会人としては困難	仕事をしながらの通学は厳しいと思う(浜松医大で働いていれば可能なのかもしれないが)

平成 30 年 10 月

浜松医科大学大学院医学系研究科
修士課程看護学専攻 在学生各位

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
博士課程設置ワーキンググループリーダー 佐藤直美

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程
および高度実践看護師教育課程 専門分野新規設置に関するニーズ調査へのご協力をお願い

拝啓 清秋の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学は平成 7 年の看護学科開設以来、看護師・保健師・助産師となる学生を教育し、地域社会の要請に応えるべく努めてまいりました。平成 11 年度には大学院修士課程看護学専攻を設置し、さらに修士課程の中に、平成 20 年度にはクリティカルケア看護高度看護実践コース（CNS コース）を、平成 27 年度には助産師養成コースを設け、看護教育者・研究者、看護管理者、高度な看護実践者の養成にも力を入れています。この度、本学では、研究・教育・実践能力に優れた人材育成にさらに注力すべく、大学院教育について見直しをすることといたしました。具体的には、博士課程（博士後期課程）の設置、修士課程への高度実践看護師教育課程の新たな専門分野設置について検討を進めています。

これらの検討を進めていくにあたり、病院看護管理者、保健施設管理者、修士課程在学生・修了生など複数の分野の方々にニーズ調査を実施したいと考えました。

そこで、今回、本学大学院修士課程在学中の皆様が博士課程進学への希望をお持ちであるか、高度実践看護師教育課程としてご興味のある分野を持っていらっしゃるか等についてご意見を伺いたく、調査へのご協力をお願いいたします。この調査結果は、今後計画を進めるにあたっての基礎資料とさせていただきますが、お答えいただいた個人の情報が公にされることはありません。ご多用のところ大変恐縮ですがご協力いただければ幸いです。

調査用紙はプリントアウトのうえご記入いただき、院生室に設置した回収箱に 10 月 17 日ごろまでにご投函ください。皆様方のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

問い合わせ先

佐藤 直美 （浜松医科大学看護学科、博士課程設置ワーキンググループリーダー）

TEL/ FAX: 053-435-2825（直通） E-mail: naomi25@hama-med.ac.jp

研究室 507

問 11 問 9 で 1 または 2 と回答された方に伺います。その理由を次の中から優先順位順に 2 つ選んでください。

- 1 現在、関心のある研究テーマがあり、大学院博士課程に進んで研究を進めたいから
- 2 将来、研究・教育職に就きたいと考えており、そのために大学院博士課程修了の学歴および能力が求められるから
- 3 現在、研究・教育職に就いており、そのために大学院博士課程修了の学歴および能力が求められるから
- 4 将来を見据え、最先端の専門的知識・技術を身に付け看護実践力を向上させたいから
- 5 将来を見据え、キャリアアップ（職位の昇進等）につなげたいから
- 6 看護職に対して、社会的に大学院博士課程修了程度の学歴および能力が求められているから
- 7 学習環境に身を置き、生涯教育の 1 つとして、自分の教養・資質を高めたいから
- 8 その他（具体的に _____ ）

①

②

問 12 問 9 で 1 または 2 と回答された方に伺います。もし具体的に入学を検討している大学院博士課程がある場合、差し支えなければ大学院名をお答えください。また、その大学院を検討している理由をお教えてください。

大学院名

理由

次に、浜松医科大学看護学科で検討中の大学院看護学専攻博士課程について伺います。

問 13 あなたは、本学大学院医学系研究科 看護学専攻 博士課程が設置された場合、入学についてどのように考えますか。なお、博士課程設置は平成 33 年度または 34 年度を目標としています。

- | | | |
|----------------------|---|---------------|
| 1 将来、ぜひ入学したい | } | 問 14 へお進みください |
| 2 将来、できれば入学したい | | |
| 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える | | |
| 4 将来的にも入学を考えることはない | → | 問 17 へお進みください |

裏面へお進みください

問 14 問 13 で 1 から 3 と回答された方に伺います。あなたが本学大学院博士課程に入学したいと思う時期はいつごろですか。1つ選んでください。

- 1 博士課程設置後すぐ
- 2 博士課程設置後 1～2 年の間
- 3 博士課程設置後 3～5 年の間
- 4 博士課程設置後 5 年より後

問 15 問 13 で 1 から 3 と回答された方に伺います。あなたが将来入学したいと考えている博士課程の領域はどれですか。次の中から最大 2 つまで選んでください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 健康科学 | 2 基礎看護 | 3 成人看護 | 4 老年看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 地域看護 | 8 在宅看護 |
| 9 精神看護 | 10 助産学 | 11 その他 | |

()

問 16 問 13 で 1 から 3 と回答された方に伺います。あなたが、仮定を含め職に就いたままで大学院に入学する上で、あってほしい条件はどのようなことですか。次の中から 1つ選んでください。

- 1 社会人に配慮した夜間開講等の授業
- 2 e-ラーニングシステムの導入
- 3 奨学金・研究助成金等の金銭的支援体制の充実
- 4 学位論文の指導体制の充実
- 5 その他 ()

次に、大学院看護学専攻修士課程 高度実践看護師教育課程 専門分野の新規設置について伺います。

問 17 あなたは、(本学に限らず) 大学院看護学専攻 高度実践看護師教育課程への入学について、どの程度興味・関心がありますか。1つ選んでください。

- 1 非常にある
- 2 どちらかといえばある
- 3 どちらかといえばない
- 4 全くない
- 5 わからない

} 問 18 へお進みください

} 問 21 へお進みください

次のページへお進みください

問 18 問 17 で 1 から 2 と回答された方に伺います。どの専門分野に興味・関心がありますか。
次の中から最大 2 つまで選んでください。

- | | | | |
|---------|----------|--------------|-------------|
| 1 がん看護 | 2 精神看護 | 3 地域看護 | 4 老人看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 慢性疾患看護 | 8 急性・重症患者看護 |
| 9 感染症看護 | 10 家族支援 | 11 在宅看護 | 12 遺伝看護 |
| 13 災害看護 | 14 放射線看護 | 15 プライマリケア看護 | |

問 19 問 17 で 1 から 2 と回答された方に伺います。入学を希望する時期はいつごろですか。1 つ選んでください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 修士修了後すぐ | 2 今後 3～5 年の間 |
| 3 今後 5 年より後 | 4 わからない |

問 20 問 18 で答えた専門分野が浜松医科大学大学院修士課程に設置された場合、入学についてどのように考えますか。1 つ選んでください。

- | |
|----------------------|
| 1 将来、ぜひ入学したい |
| 2 将来、できれば入学したい |
| 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える |
| 4 将来的にも入学を考えることはない |

すべての方に伺います。

問 21 浜松医科大学医学系研究科看護学専攻博士課程の設置、および修士課程高度実践看護師教育課程専門分野の新規設置について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これで質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

資料B4-1

表 1. 学部3年生回答者概要 (n=47)

項目	数
性別	
男性	3
女性	44
年代	
20歳代前半	46
20歳代後半	0
30歳代前半	1
30歳代後半	0
40歳代以上	0
出身地	
県内	39
県外	8

資料B4-1

学部3年生の博士課程入学に対する意識

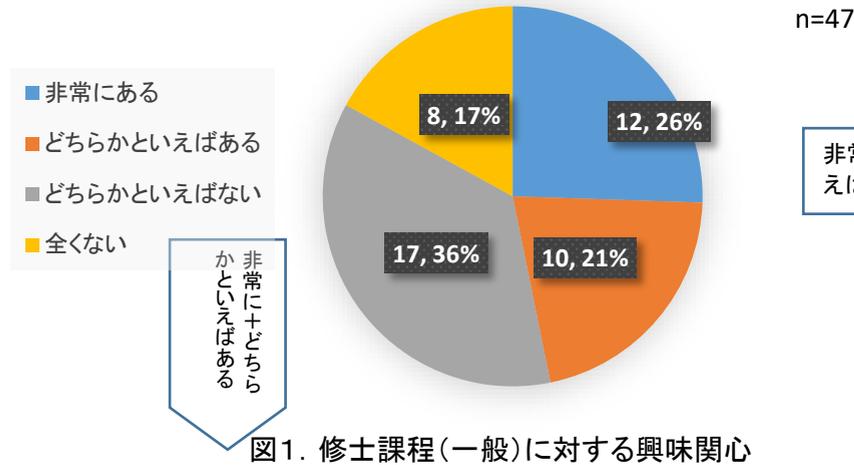


図1. 修士課程(一般)に対する興味関心

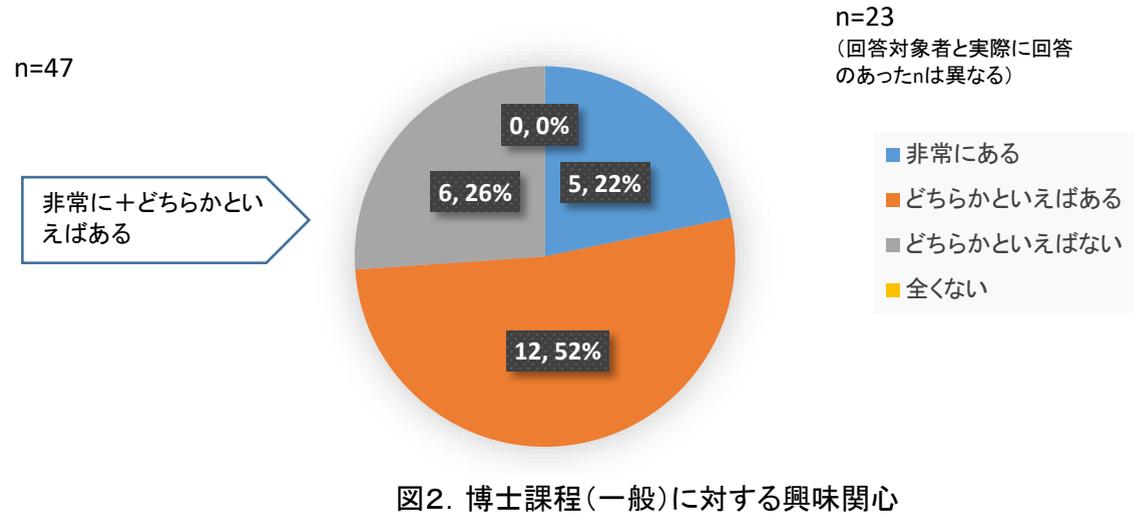


図2. 博士課程(一般)に対する興味関心

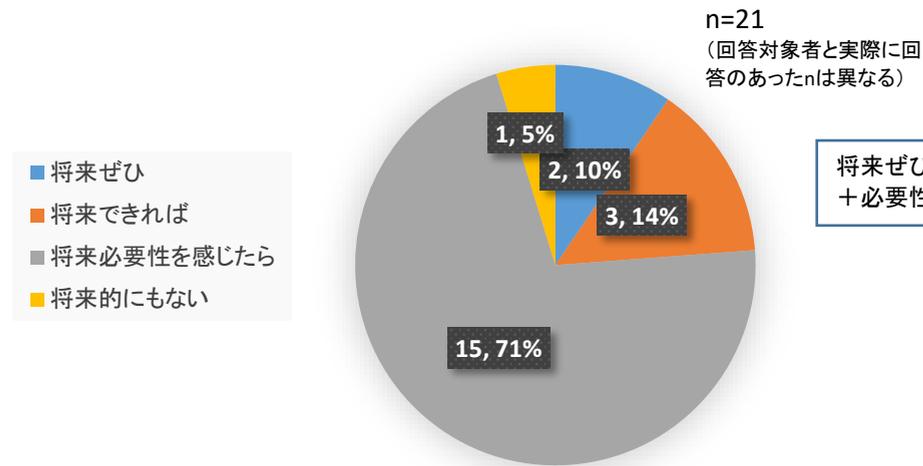


図3. 浜松医大博士課程への入学について

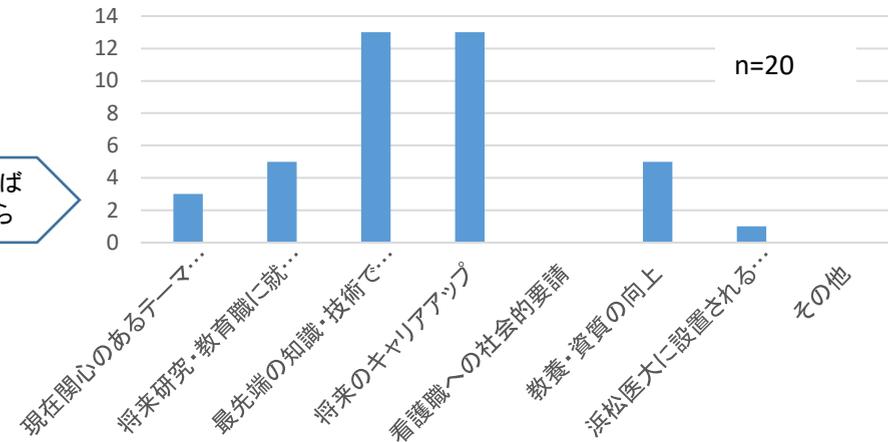


図4. 浜松医大博士課程へ興味関心のある理由(2つまで)

資料B4-1

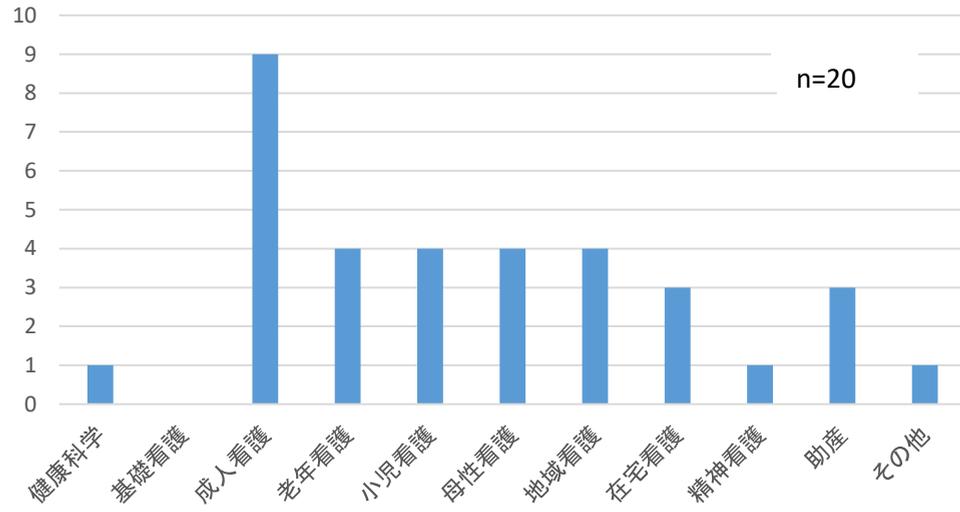


図5. 浜松医大博士課程で入学を希望する領域(2つまで)

資料B4-2

表 1. 学部 4 年生回答者概要 (n=66)

項目	数
性別	
男性	4
女性	62
年代	
20歳代前半	65
20歳代後半	1
30歳代前半	0
30歳代後半	0
40歳代以上	0
出身地	
県内	45
県外	20

資料B4-2

学部4年生の博士課程入学に対する意識

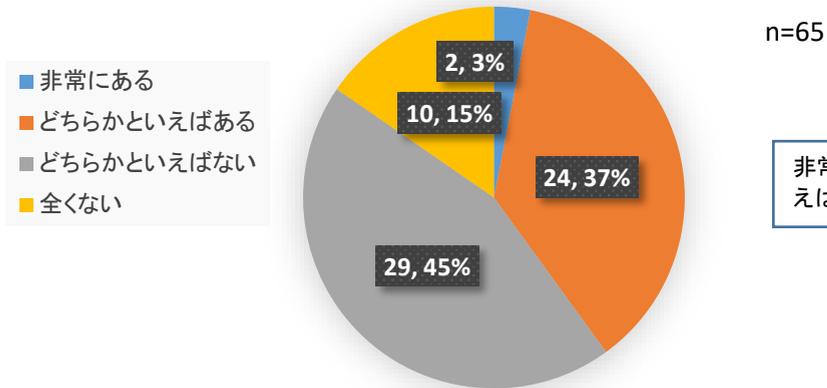


図1. 修士課程(一般)進学への興味関心

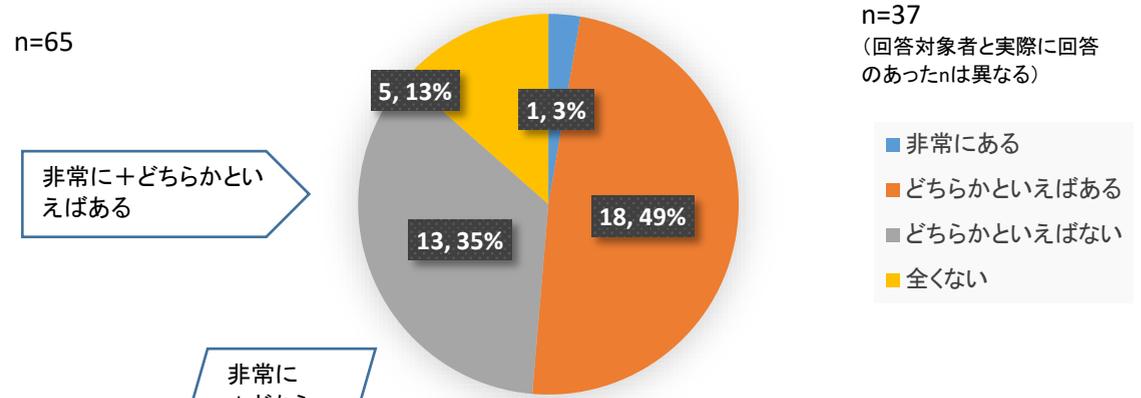


図2. 博士課程(一般)進学への興味関心

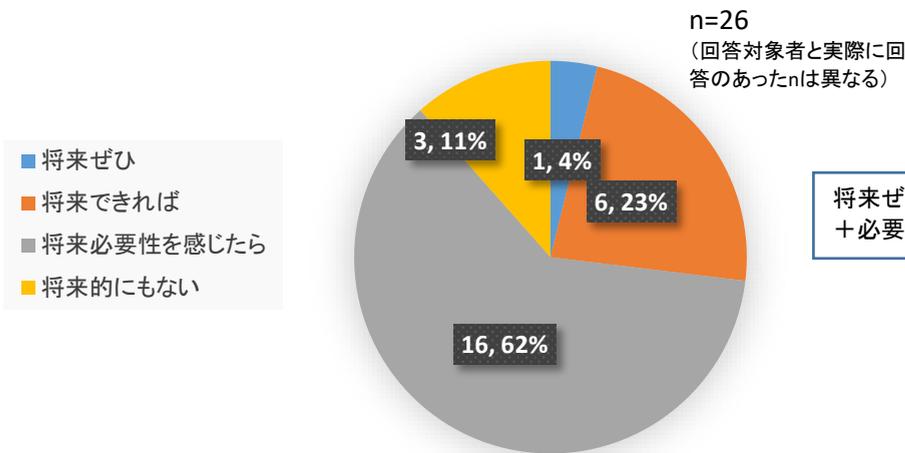


図3. 浜松医大博士課程への入学について

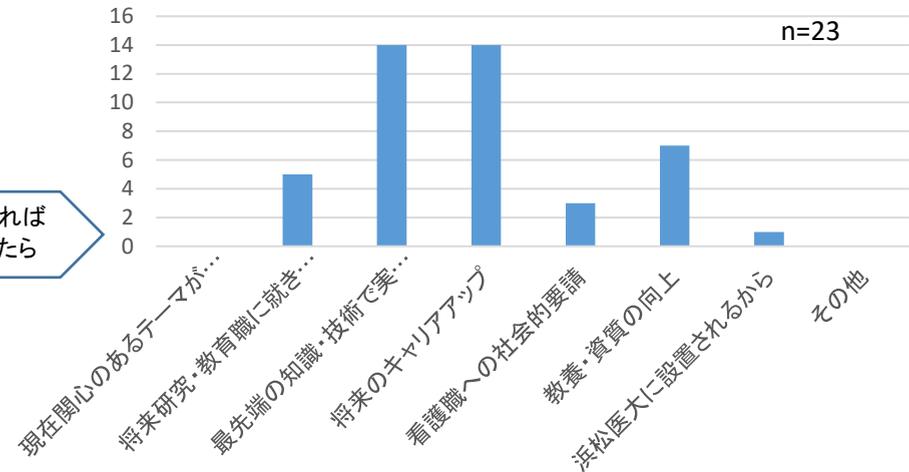


図4. 浜松医大博士課程に興味関心のある理由(2つまで)

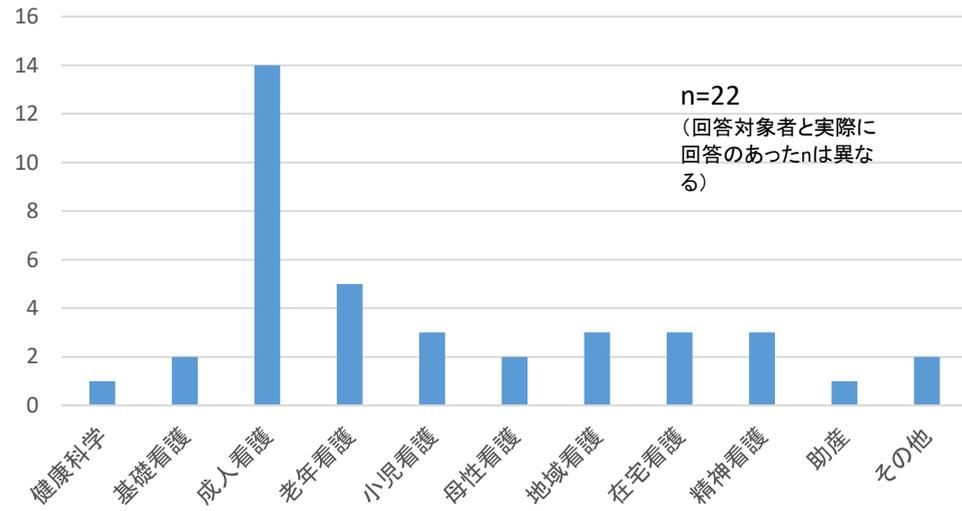


図5. 浜松医大博士課程で入学を希望する領域(2つまで)

表2. 学部3・4年生の自由意見

カテゴリー	記述概要
将来のため設置希望	今はわからないが、進みたくなくなった際に選択肢が多いと個人的には助かるため新設していただけたらありがたい。 実際働いてみないとわからないが、地元の大学病院で勉強したいと思った時にちゃんと勉強できるのはうれしい。 将来、浜松での就職や結婚・出産を考えると近い場所で学ぶ場を設けていただけるのはありがたいと思います。
情報提供の希望	どのようなスケジュールで行っていくのかパンフレットのようなものがあつたら見たいと思います。 進路についての情報提供をもっとしてほしい。
その他	因学院に行くことは親から勧められていたが看護系への進学はしなくなかったため就職を選択した。

次に、浜松医科大学看護学科で検討中の 大学院看護学専攻 博士課程について伺います。

問6 あなたは、本学大学院医学系研究科 看護学専攻 博士課程が設置された場合、入学についてどのように考えますか。なお、博士課程設置は平成33年度または34年度を目標としています。

- | | | | |
|----------------------|---|------------|--------------------------|
| 1 将来、ぜひ入学したい | } | 問7へお進みください | <input type="checkbox"/> |
| 2 将来、できれば入学したい | | | |
| 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える | | | |
| 4 将来的にも入学を考えることはない | → | 問9へお進みください | |

問7 問6で1から3と回答された方に伺います。その理由を次の中から優先順位順に2つ選んでください。

- 1 現在、関心のある研究テーマがあり、大学院博士課程に進んで研究を進めたいから
- 2 将来、研究・教育職に就きたいと考えており、そのために大学院博士課程修了の学歴および能力が求められるから
- 3 将来を見据え、最先端の専門的知識・技術を身に付け看護実践力を向上させたいから
- 4 将来を見据え、キャリアアップ（職位の昇進等）につなげたいから
- 5 看護職に対して、社会的に大学院博士課程修了程度の学歴および能力が求められているから
- 6 学習環境に身を置き、生涯教育の1つとして、自分の教養・資質を高めたいから
- 7 浜松医科大学に設置される博士課程だから
- 8 その他（具体的に _____ ）

①

②

問8 問6で1から3と回答された方に伺います。あなたが将来入学したいと考える博士課程の領域はどれですか。次の中から 最大2つまで選んでください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 健康科学 | 2 基礎看護 | 3 成人看護 | 4 老年看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 地域看護 | 8 在宅看護 |
| 9 精神看護 | 10 助産学 | 11 その他 | |

(_____)

次に、大学院看護学専攻修士課程高度実践看護師教育課程（CNS コース）専門分野の新規設置について伺います。

問9 あなたは、（本学に限らず）大学院看護学専攻 高度実践看護師教育課程への入学について、どの程度興味・関心がありますか。1つ選んでください。

次のページへお進みください

- | | | |
|--------------|---|-------------|
| 1 非常にある | } | 問10へお進みください |
| 2 どちらかといえばある | | |
| 3 どちらかといえばない | } | 問12へお進みください |
| 4 全くない | | |

問10 問9で1から2と回答された方に伺います。どの専門分野に興味・関心がありますか。
次の中から最大2つまで選んでください。

- | | | | |
|---------|----------|--------------|-------------|
| 1 がん看護 | 2 精神看護 | 3 地域看護 | 4 老人看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 慢性疾患看護 | 8 急性・重症患者看護 |
| 9 感染症看護 | 10 家族支援 | 11 在宅看護 | 12 遺伝看護 |
| 13 災害看護 | 14 放射線看護 | 15 プライマリケア看護 | |

問11 問10で答えた専門分野が浜松医科大学大学院修士課程に設置された場合、入学についてどのように考えますか。1つ選んでください。

- 1 将来、ぜひ入学したい
- 2 将来、できれば入学したい
- 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える
- 4 将来的にも入学を考えることはない

すべての方に伺います。

問12 浜松医科大学医学系研究科看護学専攻博士課程の設置、および修士課程高度実践看護師教育課程専門分野の新規設置について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これで質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

表1. 大学教員回答者概要 (n=7)

項目	数
性別	
男性	3
女性	4
年代	
20歳代	1
30歳代	3
40歳代	2
50歳代	1
60歳代以上	0
住まい	
県内	6
浜松市	3
掛川市	1
富士市	1
県外	1
勤続年数	
1～2年	3
3～5年	3
6～10年	1
11年以上	0
看護での最終学歴	
専門・短大	0
4年制大学	2
修士	5
その他	0
最終学歴修了後年数	
1～2年	0
3～5年	2
6～10年	3
11年以上	2

大学教員の博士課程入学に対する意識

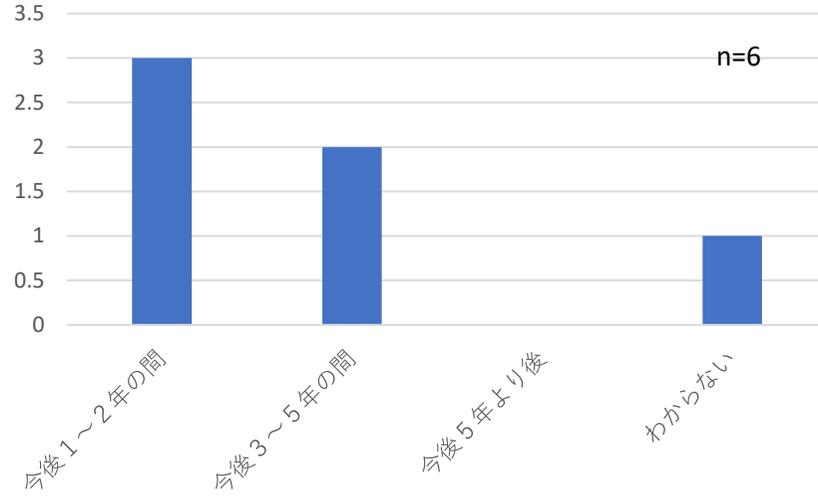
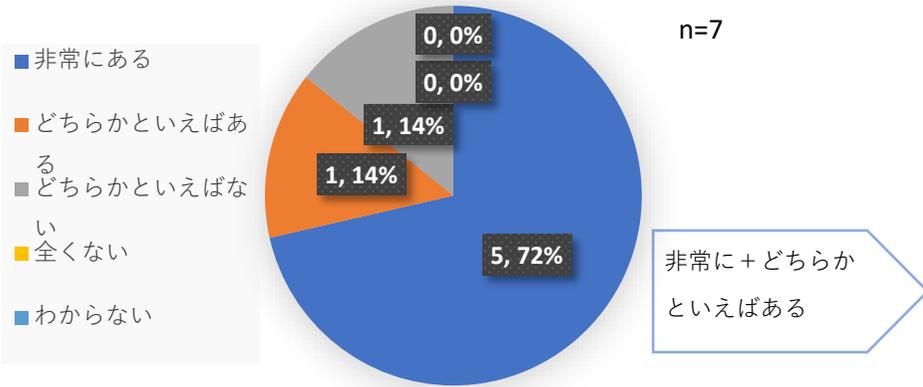


図1. 博士課程（一般）への興味関心

図2. 博士課程（一般）への入学希望時期

43

非常に+どちらかといえばある

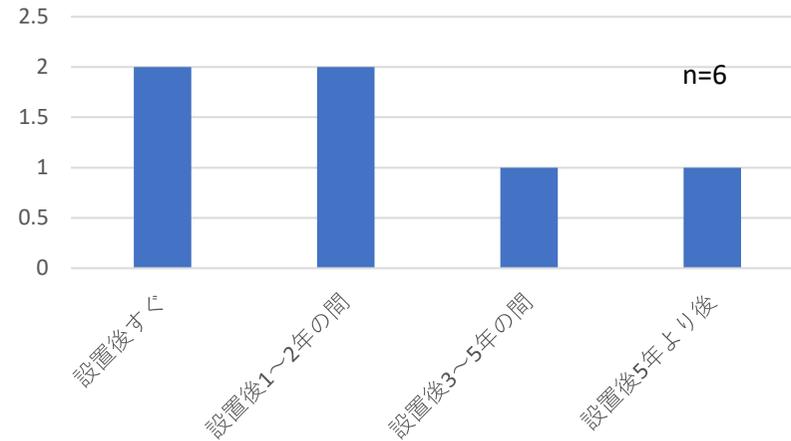
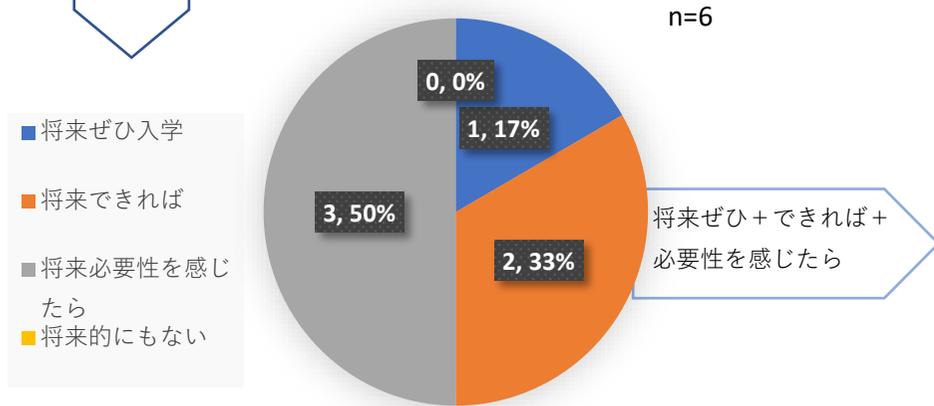
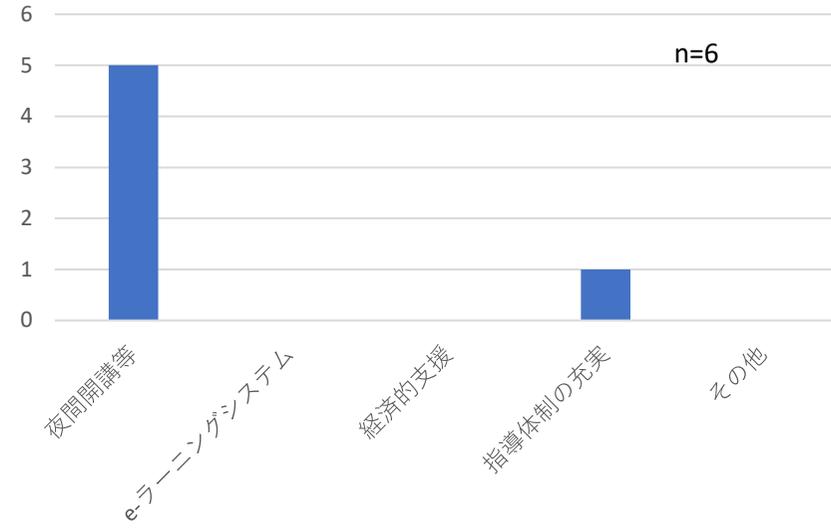
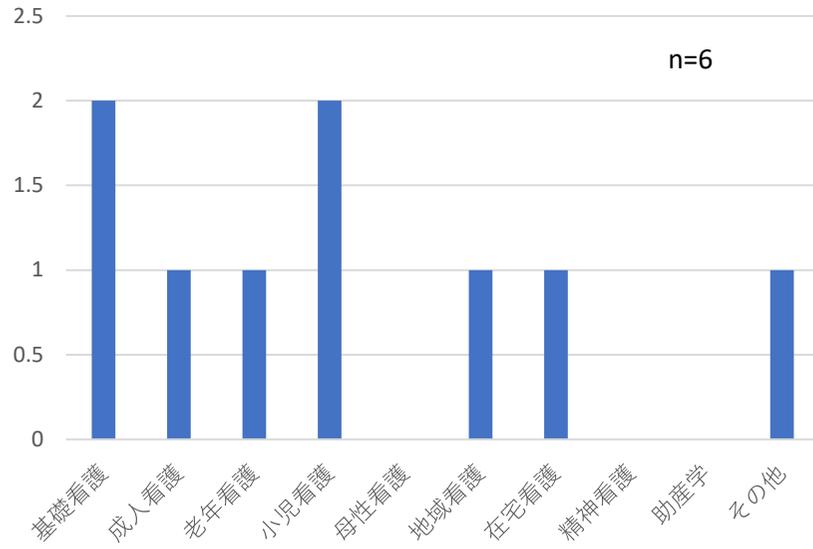


図3. 浜松医大博士課程への入学について

図4. 浜松医大博士課程への入学希望時期



44 図5. 浜松医大博士課程で入学を希望する領域 (2つまで)

図6. 在職で入学する場合の希望する配慮内容

表3. 大学教員の自由意見

カテゴリー	記述概要
設置への強い期待	修士を持っている人にとっては博士課程の設置はとてもありがたい。ぜひ実現してもらえると研究者は心強い。

平成 30 年 12 月

学部長 殿

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
博士課程設置ワーキンググループ
リーダー 佐藤 直美

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程
設置に関するニーズ調査へのご協力をお願い

拝啓 暮秋の候、先生におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本学の活動に格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

近年の看護教育をとりまく変化は大きく、平成 30 年 4 月現在 4 年制看護系大学の数は 260 を超えています。医療の高度化・複雑化、超高齢化に伴う地域包括ケアシステムの推進等の社会の動きの中で、看護職に求められるニーズは多様化・高度化しています。本学は平成 7 年の看護学科開設以来、看護師・保健師・助産師となる学生を教育し、地域社会の要請に応えるべく努めてまいりました。平成 11 年度には大学院修士課程看護学専攻を設置し、さらに修士課程の中に、平成 20 年度にはクリティカルケア看護高度看護実践コース（CNS コース）を、平成 27 年度には助産師養成コースを設け、看護教育者・研究者、看護管理者、高度な看護実践者の養成にも力を入れています。この度本学では、研究・教育・実践能力に優れた人材育成にさらに注力すべく、大学院教育について見直しをすることといたしました。具体的には、博士課程（博士後期課程）の設置、修士課程への高度実践看護師教育課程の新たな専門分野設置について検討を進めています。

これらの検討を進めていくにあたり、病院看護管理者、保健施設管理者、修士課程在学学生・修了生、また、大学や専門学校で教育にあたられている方など複数の分野の方々にニーズ調査を実施したいと考えました。そこで、今回、近隣の大学に勤務していらっしゃる、博士の学位をお持ちでない准教授・講師・助教や助手の先生方が本学の博士課程設置にどの程度関心をお持ちであるかご意見を伺いたく、調査へのご協力をお願いする次第です。この調査結果は、今後計画を進めるにあたっての基礎資料とさせていただきますが、お答えいただいた個別の情報が公にされることはありません。ご多用のところ大変恐縮ですが、貴学部看護学科の該当する先生方にご協力いただければ幸いです。サンプルとして、質問紙を 1 部同封しております。

ご協力の可否につきまして、同封の葉書にてお返事をいただきたくお願い申し上げます。勝手ながら 12 月 21 日ごろまでにお返事いただければ幸いです。ご承諾がいただけましたら、学科長の先生宛に、対象となる方の人数分の質問紙を郵送させていただきます。

本調査の趣旨をご理解いただきご協力をいただければ幸甚に存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

問い合わせ先：佐藤 直美

(浜松医科大学看護学科 臨床看護学講座 教授、博士課程設置ワーキンググループリーダー)

TEL/ FAX: 053-435-2825 (直通) E-mail: naomi25@hama-med.ac.jp

ここから、大学院看護学専攻博士課程 一般のことについてお伺いします。

問7 あなたは、大学院看護学専攻博士課程へ入学することについて、どの程度興味・関心がありますか。1つ選んでください。

- 1 非常にある
- 2 どちらかといえばある
- 3 どちらかといえばない
- 4 全くない
- 5 わからない

} 問8へお進みください

} 問14へお進みください

問8 問7で1または2と回答された方に伺います。博士課程に入学したいと思う時期はいつごろですか。

- | | |
|------------|------------|
| 1 今後1～2年の間 | 2 今後3～5年の間 |
| 3 今後5年より後 | 4 わからない |

問9 問7で1または2と回答された方に伺います。もし具体的に入学を検討している大学院博士課程がある場合、差し支えなければ大学院名をお答えください。また、その大学院を検討している理由をお教えてください。

大学院名

理由

次に、浜松医科大学看護学科で検討中の大学院看護学専攻博士課程について伺います。

問10 あなたは、本学大学院医学系研究科 看護学専攻 博士課程が設置された場合、入学についてどのように考えますか。なお、博士課程設置は平成33年度または34年度を目標としています。

- 1 将来、ぜひ入学したい
- 2 将来、できれば入学したい
- 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える
- 4 将来的にも入学を考えることはない

} 問11へお進みください

→ 問14へお進みください

問11 問10で1から3と回答された方に伺います。あなたが本学大学院博士課程に入学したいと思う時期はいつごろですか。1つ選んでください。

- 1 博士課程設置後すぐ
- 2 博士課程設置後1～2年の間
- 3 博士課程設置後3～5年の間
- 4 博士課程設置後5年より後

次のページへお進みください

問 12 問 10 で 1 から 3 と回答された方に伺います。あなたが将来入学したいと考えている博士課程の領域はどれですか。次の中から 最大 2 つまで選んでください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 健康科学 | 2 基礎看護 | 3 成人看護 | 4 老年看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 地域看護 | 8 在宅看護 |
| 9 精神看護 | 10 助産学 | 11 その他 | |
- ()

問 13 問 10 で 1 から 3 と回答された方に伺います。あなたが、仮定を含め職に就いたままで大学院に入学する上で、あってほしい条件はどのようなことですか。次の中から 1 つ選んでください。

- 1 社会人に配慮した夜間開講等の授業
- 2 e-ラーニングシステムの導入
- 3 奨学金・研究助成金等の金銭的支援体制の充実
- 4 学位論文の指導体制の充実
- 5 その他

()

すべての方に伺います。

問 14 浜松医科大学医学系研究科看護学専攻博士課程の設置について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これで質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。

表1. 専門学校教員回答者概要 (n=65)

項目	数
性別	
男性	3
女性	62
年代	
20歳代	1
30歳代	8
40歳代	23
50歳代	28
60歳代以上	5
住まい	
県内	64
浜松市	19
袋井市	6
藤枝市	6
静岡市	5
県外	1
勤続年数	
1～2年	15
3～5年	13
6～10年	19
11年以上	18
看護での最終学歴	
専門・短大	47
4年制大学	11
修士	4
その他	3
最終学歴修了後年数	
1～2年	3
3～5年	7
6～10年	8
11年以上	47

専門学校教員の博士課程入学に対する意識

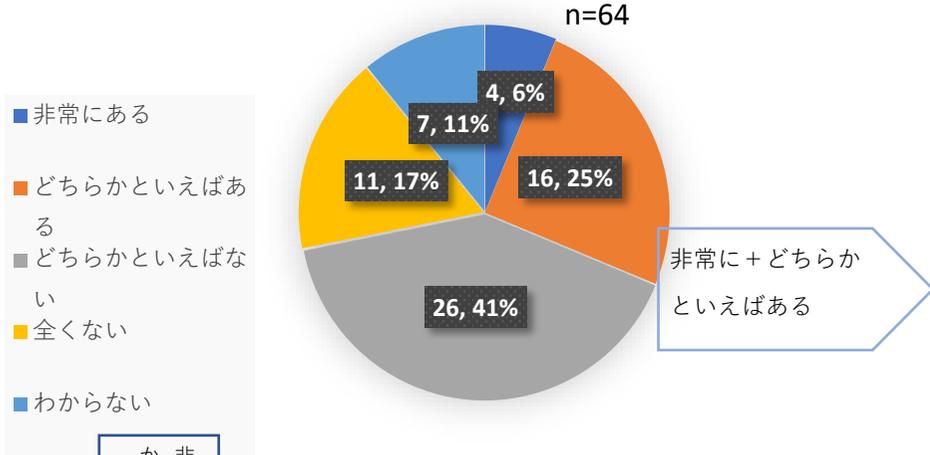


図1. 博士課程（一般）への興味関心

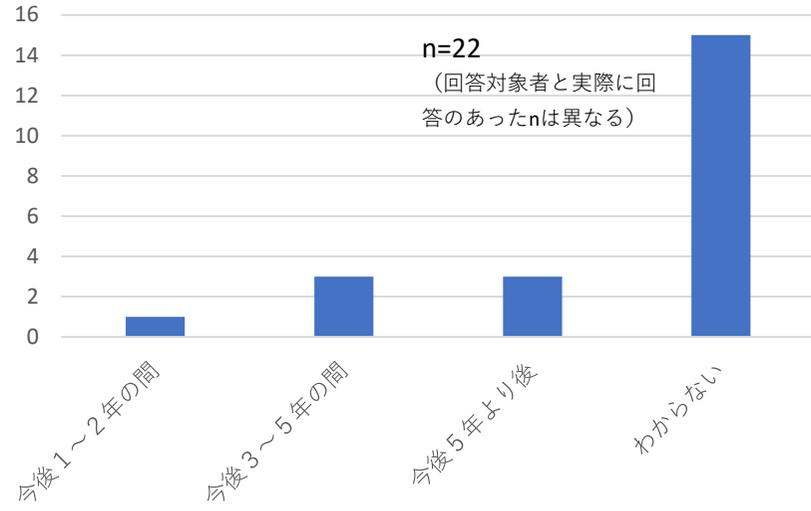


図2. 博士課程（一般）への入学希望時期

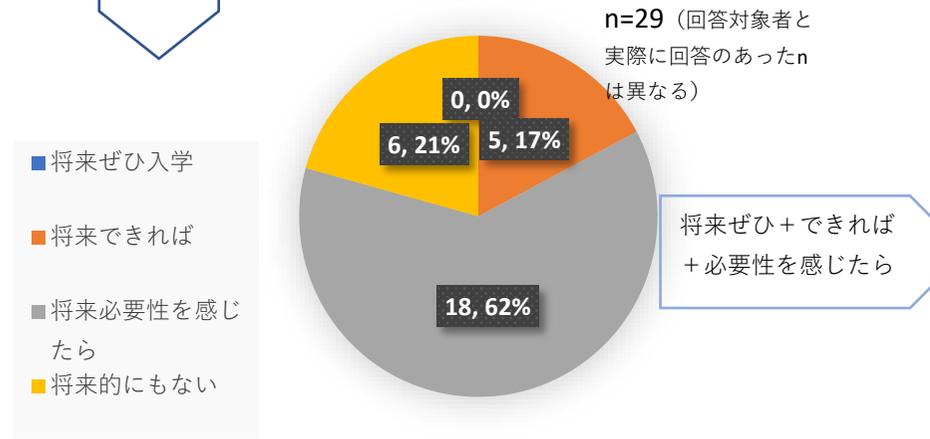


図3. 浜松医大博士課程への入学について

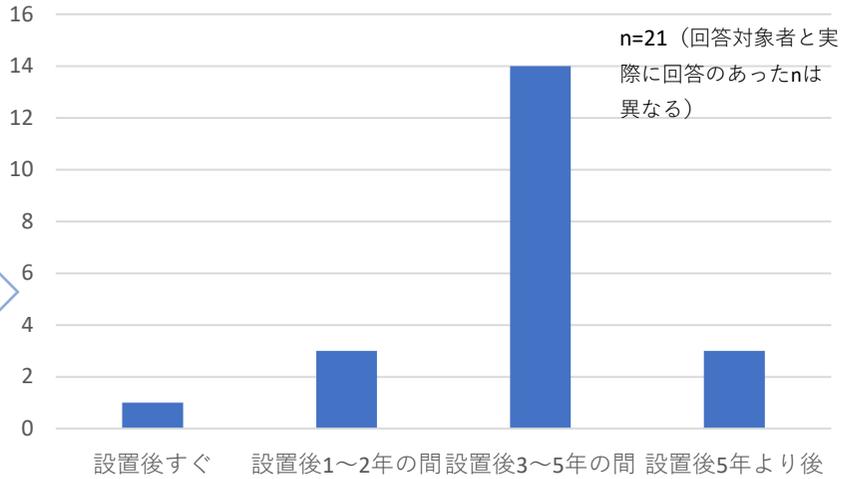


図4. 浜松医大博士課程への入学希望時期

表2. 専門学校教員の自由意見

カテゴリー	記述概要
学びの場として期待している	<p>学びたい思いは常々持っているが役職がついてその職務を全うするのに精一杯。県内に学べる場が増えることは大賛成。</p> <p>看護の質の向上に貢献できるものであり、学びたいと思っている人にとって、学びの場を提供できるというものであり期待している。</p> <p>自分自身は関心が薄い若い学生たちにとって博士課程の設置はキャリアアップを図るためにもありがたい。</p>
働きながら学べる環境に期待している	<p>浜松医大ならではの質の高い教育、仕事をしながら学べる環境に期待している。</p> <p>働きながら看護学系の大学院教育を受けることは難しかったので他の学問分野で通信教育で修士課程の学習をした。看護学も学びやすい環境を提供できる大学院になると良い。陰ながら期待している。</p> <p>通うのが大変なので通信やPCのネットワークで可能だとありがたい。より科学的思考で教授できると思うので設置されるのはよいと思う。</p> <p>修士も大変かと思っているため今のところは特にない。働きながら学びやすい環境だとよいと思う。</p>
情報提供を期待する	<p>入学条件、入学後の学習サポート等知りたい。</p> <p>多くの人がある存在を知ることができるよう宣伝をたくさんしてほしい。</p>
その他	<p>看護学の独自性について考えてしまう。</p>

平成 30 年 12 月

校長 先生

浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
博士課程設置ワーキンググループ
リーダー 佐藤 直美浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻 博士課程
設置に関するニーズ調査へのご協力をお願い

拝啓 暮秋の候、先生におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本学の活動に格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

近年の看護教育をとりまく変化は大きく、平成 30 年 4 月現在 4 年制看護系大学の数は 260 を超えています。医療の高度化・複雑化、超高齢化に伴う地域包括ケアシステムの推進等の社会の動きの中で、看護職に求められるニーズは多様化・高度化しています。本学は平成 7 年の看護学科開設以来、看護師・保健師・助産師となる学生を教育し、地域社会の要請に応えるべく努めてまいりました。平成 11 年度には大学院修士課程看護学専攻を設置し、さらに修士課程の中に、平成 20 年度にはクリティカルケア看護高度看護実践コース（CNS コース）を、平成 27 年度には助産師養成コースを設け、看護教育者・研究者、看護管理者、高度な看護実践者の養成にも力を入れています。この度本学では、研究・教育・実践能力に優れた人材育成にさらに注力すべく、大学院教育について見直しをすることといたしました。具体的には、博士課程（博士後期課程）の設置、修士課程への高度実践看護師教育課程の新たな専門分野設置について検討を進めています。

これらの検討を進めていくにあたり、病院看護管理者、保健施設管理者、修士課程在学学生・修了生、また、大学や専門学校で教育にあたられている方など複数の分野の方々にニーズ調査を実施したいと考えました。

そこで、今回、静岡県中・西部の看護専門学校に勤務していらっしゃる先生方が本学の博士課程設置にどの程度関心をお持ちであるかご意見を伺いたく、調査へのご協力をお願いする次第です。この調査結果は、今後計画を進めるにあたっての基礎資料とさせていただきますが、お答えいただいた個別の情報が公にされることはありません。ご多用のところ大変恐縮ですが、貴校の先生方（すでに博士の学位を取得されている先生を除く）にご協力いただければ幸いです。サンプルとして、質問紙を 1 部同封しております。

ご協力の可否につきまして、同封の葉書にてお返事をいただきたくお願い申し上げます。勝手ながら 12 月 21 日ごろまでにお返事いただければ幸いです。ご承諾がいただけましたら、対象となる方の人数分の質問紙を郵送させていただきます。

本調査の趣旨をご理解いただきご協力をいただければ幸甚に存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

問い合わせ先：佐藤 直美

（浜松医科大学看護学科 臨床看護学講座 教授、博士課程設置ワーキンググループリーダー）

TEL/ FAX: 053-435-2825（直通） E-mail: naomi25@hama-med.ac.jp

ここから、大学院看護学専攻博士課程 一般のことについて伺います。

問7 あなたは、大学院看護学専攻博士課程へ入学することについて、どの程度興味・関心がありますか。1つ選んでください。

- | | | | |
|--------------|---|-------------|--------------------------|
| 1 非常にある | } | 問8へお進みください | <input type="checkbox"/> |
| 2 どちらかといえばある | | | |
| 3 どちらかといえばない | } | 問14へお進みください | |
| 4 全くない | | | |
| 5 わからない | | | |

問8 問7で1または2と回答された方に伺います。博士課程に入学したいと思う時期はいつごろですか。

- | | | |
|------------|------------|--------------------------|
| 1 今後1～2年の間 | 2 今後3～5年の間 | <input type="checkbox"/> |
| 3 今後5年より後 | 4 わからない | |

問9 問7で1または2と回答された方に伺います。もし具体的に入学を検討している大学院博士課程がある場合、差し支えなければ大学院名をお答えください。また、その大学院を検討している理由をお教えてください。

大学院名

理由

次に、浜松医科大学看護学科で検討中の大学院看護学専攻博士課程について伺います。

問10 あなたは、本学大学院医学系研究科 看護学専攻 博士課程が設置された場合、入学についてどのように考えますか。なお、博士課程設置は平成33年度または34年度を目標としています。

- | | | | |
|----------------------|---|-------------|--------------------------|
| 1 将来、ぜひ入学したい | } | 問11へお進みください | <input type="checkbox"/> |
| 2 将来、できれば入学したい | | | |
| 3 将来、必要性を感じた場合入学を考える | | | |
| 4 将来的にも入学を考えることはない | → | 問14へお進みください | |

問11 問10で1から3と回答された方に伺います。あなたが本学大学院博士課程に入学したいと思う時期はいつごろですか。1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1 博士課程設置後すぐ | <input type="checkbox"/> |
| 2 博士課程設置後1～2年の間 | |
| 3 博士課程設置後3～5年の間 | |
| 4 博士課程設置後5年より後 | |

次のページへお進みください

問 12 問 10 で 1 から 3 と回答された方に伺います。あなたが将来入学したいと考えている博士課程の領域はどれですか。次の中から 最大 2 つまで選んでください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 健康科学 | 2 基礎看護 | 3 成人看護 | 4 老年看護 |
| 5 小児看護 | 6 母性看護 | 7 地域看護 | 8 在宅看護 |
| 9 精神看護 | 10 助産学 | 11 その他 | |
- ()

問 13 問 10 で 1 から 3 と回答された方に伺います。あなたが、仮定を含め職に就いたままで大学院に入学する上で、あってほしい条件はどのようなことですか。次の中から 1 つ選んでください。

- 1 社会人に配慮した夜間開講等の授業
- 2 e-ラーニングシステムの導入
- 3 奨学金・研究助成金等の金銭的支援体制の充実
- 4 学位論文の指導体制の充実
- 5 その他

()

すべての方に伺います。

問 14 浜松医科大学医学系研究科看護学専攻博士課程の設置について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

これで質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました。